共同研究・研究集会 採択課題一覧［2026年度］
Accepted research projects [FY2026] : Collaborative research projects and meetings

種別 Category	年度 FY	研究課題 Research project titles	研究代表者／所属機関 PI	所内担当者 DPRI
一般共同研究	2026・2027	堆積地盤における地震動の地形効果の評価手法	津野靖士／東京科学大学環境・社会理工学院	浅野公之
		堤防の法面被覆工下の水みち形成に伴って上昇する揚圧力計測と対策に関する研究	岡本隆明／名城大学工学部社会基盤デザイン工学科	山上路生
		協調型船舶レーダネットワークによる桜島噴火現象の観測とAI火山防災への利用	中村啓彦／鹿児島大学水産学部	中道治久
		噴火防災に資する九州地域火山の物質科学特性の解明	澤山和貴／京都大学理学研究科	畑真紀
		強風時の風波砕波による運動量輸送と乱流強化のメカニズムの解明	杉原裕司／九州大学大学院総合理工学研究院	山上路生
		現地波面形状観測システムの開発と台風下の多方向暴波浪場における大気海洋輸送の海面状態依存性	猿渡亜由未／北海道大学大学院工学研究院	馬場康之
国際共同研究（一般）	2026・2027	インド北東部のシビア気象災害データベースの構築とメソスケール解析	Mahanta Rahul / Cotton University	佐山敬洋
		統合水文年代学的枠組みによる乾燥地域における洪水極端現象の再現：過去から未来の状況への洞察	Soliman Mohammed / Military Technological College	Mohamed Saber
		極端気象災害下における中小企業の経済レジリエンスの分析：労働力不足、資金制約、および災後復興	Liu Huan /華南理工大学公共管理学院	多々納裕一
		衛星観測から実験室へ：異なる空間スケールを統合した地すべり予測手法の高度化	Veronica Tofani / University of Florence	王功輝
		ネパール・カトマンズ盆地周辺の高ヒマラヤ変成岩斜面における古期地すべり移動体抽出による地域防災への貢献	Ranjan Kumar Dahal / ネパール国立トリブバン大学地質学科	林宏一
		地震リスク評価を目指したインドネシア・西ジャワ近傍のプレート境界構造過程の解明	Febty Febriani / National Research and Innovation Agency of Indonesia	吉村令慧
国際共同研究（特定）	2026・2027	GADRIネットワークによる参加型・国際標準連動型プラットフォーム構築	多々納裕一／京都大学防災研究所	藤見俊夫
拠点研究（一般推進）	2026	On-site Laboratory「地震・津波未災学国際Lab」を活用した比較地震・津波災害科学の国際展開	伊藤喜宏／京都大学防災研究所	
		地震発生後のリアルタイムデータを生かした都市の地震リスク軽減フレームワークの構築	境有紀／京都大学防災研究所	
		超長期スパンの震災経験継承手法の開発に関する研究―阪神・淡路大震災20ー30年災害メモリアルアクションKOBEの活動分析を通じて―	牧紀男／京都大学防災研究所	
長期・短期滞在型共同研究	2026	固体ー流体連成モデリングの構築による液状化に伴う流動性崩壊の数値予測高度化	Zheng Wenbo / University of Northern British Columbia, Canada	王功輝
		耐震性に優れた捨石式防波堤の新工法の開発と遠心模型実験による液状化・再液状化リスクの評価	Pattan Kotrabasappa Akarsh / NITK Surathkal	渦岡良介・上田恭平
		高潮および波浪による極端な沿岸域リスクの温暖化による将来変化	Lobeto Hector / Universidad de Cantabria	森信人
		地すべり早期警戒を目的とした常時微動トモグラフィの最適化：熱帯残積土における高機能分散型地震計システムに対するラズベリー・シェイク3Dの校正	Linang Harry Telajan / Universiti Malaya	林宏一
萌芽的共同研究	2026	球面フーリエ変換に基づく大気大循環モデルの構築と寒波事例のシミュレーションによる検証	野村鈴音／京都大学防災研究所（理学研究科）	榎本剛
		地すべりのすべり面形成における小構造ネットワークの役割	木下英樹／京都大学防災研究所（理学研究科）	山崎新太郎
		降下火砕物の斜面崩壊における液状化現象および高移動性発現機構：軽石含有率と粒子破砕の影響について	Jiajin Zhao / 京都大学防災研究所（理学研究科）	王功輝
若手研究者海外派遣	2026	出水期のオーストリアにおける防災とエネルギー転換の統合的なリスクコミュニケーションに関する研究	黒澤宗一郎／京都大学防災研究所	矢守克也
重点推進型共同研究	2026	突発災害時の初動調査体制のさらなる強化および継続的調査研究の支援	大湊隆雄／東京大学地震研究所	松島信一・山口弘誠
		自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用と国際展開に関する研究	大湊隆雄／東京大学地震研究所	松島信一・小林草平
地域防災実践型共同研究（一般）	2026・2027	防災ツーリズムの可能性と課題	村越淳／黒潮町役場情報防災課	矢守克也
		物語を媒介とした地域防災ガバナンスの形成プロセス―桜島大規模噴火を対象として―	大西正光／京都大学工学研究科	中道治久
地域防災実践型共同研究（特定）	2026・2027	半導体産業の進出に伴う再開発が地域水レジリエンスに与える影響の評価と適応策に関する研究	張浩／熊本大学先端科学研究部	川池健司・王功輝
自然災害研究集会	2026	2026年度自然災害に関するオープンフォーラム―災害伝承のいま・みらい―	越村俊一／東北大学災害科学国際研究所	米山望
特定研究集会	2026	連鎖複合災害と対峙する斜面・流域・山地地形学: 学びと展望	松四雄騎／京都大学防災研究所	
		インクルーシブな防災教育に関するシンポジウム	矢守克也／京都大学防災研究所	
一般研究集会	2026	粒子重力流に関する国際ワークショップ	成瀬元／京都大学大学院理学研究科	竹林洋史
		極端気象に伴う複合災害に対する共通理解に向けた学際的研究集会	近藤誠／大阪大学大学院工学研究科	丹治星河
		火山砂防60年の系譜：分野を融合し次世代へ繋ぐ	堤大三／信州大学農学部	高山翔揮
		地震・火山災害誘因の根源的理解に向けたテクトニック変形駆動プロセスの学際的解明	伊東優治／東京大学地震研究所	伊藤喜宏
		大規模珪長質マグマシステムと巨大噴火ハザードに関する国際研究集会	長谷川健／茨城大学理工学研究科	中道治久
		高分解能水底地質記録を将来災害予測に応用するための文理融合型研究集会	山本裕二／高知大学海洋コア国際研究所	山崎新太郎